

胃がん手術を受けられる方へ:全摘切除術(術前)

月 日	／ ()	／ ()	／
	手術前日	手術日(術前)	手術日(術後)
達成目標	精神的準備ができています 転倒しない	精神的準備ができています 転倒しない	疼痛のコントロールができています
説明	看護師より入院生活について説明します 医師、看護師より手術について説明します 薬剤師より服薬歴・持参薬等の確認します	看護師より手術後の安静、痛みのケアについて説明します	
内服	下剤を飲みます 眠れない時は、看護師にお声掛けください 		
注射			点滴をします 
検査	採血 		採血 
処置	臍をきれいにします 肺理学療法を励行して下さい * 内視鏡で手術前処置を行う場合があります	手術室で除毛します	<ul style="list-style-type: none"> ・ネブライザーをします ・酸素マスクをします ・お腹に管が入ります ・胃に管が入ります ・尿道に管が入ります ・背中に痛み止めの管が入ります 
活動安静度	 院内自由です 		ベッド上安静です 寝返りはできません * 術後は、ICUまたはHCUへ入室します 
清潔	 入浴できます		
排泄	 制限はありません 		尿量測定をします
食事	夕食以降は禁食です 飲水はできます * 内視鏡で手術前処置を行った場合は、禁食です 1時間は飲水できません。その後は、飲水(お茶など)ができます	朝1番手術の方 : 朝6時までアルジネードウォーター摂取可 朝6時30分までOS-1飲水可 on call手術の方 : 朝9時までアルジネードウォーター摂取可 朝10時までOS-1飲水可	禁飲食です
備考			

注 経過および入院期間は現時点で想定されているもので、状態によって前後することもありますのでご注意ください。

胃がん手術を受けられる方へ:全摘切除術(術後)

月 日	/	/	/ ~ /	/	/
	手術後1日目	手術後2～3日目	手術後4～7日目	手術後8～16日目	退院日
達成目標	痛みのコントロールが 出来ている 創部に問題がない	痛みのコントロールが 出来ている 創部に問題がない	痛みのコントロールが 出来ている 創部に問題がない	痛みのコントロールが 出来ている 創部に問題がない	日常生活の注意点について 理解できる
説明				栄養士により食事について 説明します(栄養指導)	看護師より退院後の生活について 説明します
内服		痛み止めを飲みます(術後8日目まで)			
注射	点滴をします(術後5日目まで)				
検査	採血 		採血(手術後3日目・5日目) 胸部・腹部のレントゲン (手術後3日目)	採血(手術後8日目) 腹部のレントゲン(手術後8日目) 	
処置	傷口の確認をします 胃の管を抜きます	傷口の確認をします 尿道の管を抜きます	傷口の確認をします お腹の管を抜きます	傷口の確認をします 背中 の痛み止めの管を抜きます	傷口の確認をします
活動 安静度	ベッドサイドに 立てます	看護師と一緒に 歩行します 		病棟内は自由です	
清潔	 清拭を します	医師の指示によりシャワー 浴ができます			
排泄	尿量測定を します			制限は ありません	
食事	禁飲食 です	医師が確認後、 飲水できます (500mlまで)	飲水の制限は ありません。 昼食から食事を 始めます。 6食ごとに(流動 →五分菜→軟菜 →ごはん)と 変わります。 軟菜に変わった 後、栄養指導が あります。		
備考					

注 経過および入院期間は現時点で想定されているもので、状態によって前後することもありますのでご注意ください。